

## 対象者がいたら すぐ譲る優先席

◇中学に入学して電車などを使う機会が増えた。それまでは数回しか利用したことが

なかったのだが、中学へ入学する期待とともに、電車を利用することへの期待も大きくふくらんでいた。それは今思うと、座席を譲るといったよ

◇さて、待ちに待った電車に座ってください」と、何の通学初日。先に乗っていた友人の隣に座り、電車に乗っていることに興奮しソワソワしていた。駅に着くたびに人が増えていくのがわかった。その中で、私はふと疑問に思ったことがあった。それは優先席だ。普通の席は既に埋まっており、立っている人も少なくはなかった。そんな中、優先席に学生やサラリーマンなどが座っている姿も見えた。それまでの私は、優先席はあくまでも体の不自由な方が利用する席だと思っていた。だから健常者が座っていて驚いたのだ。

に座ってください」と、何のためらいもなく席を譲ったのだ。私はその姿を見て、朝からうれしい気持ちになった。優先席は、基本的に体の不自由な方々のための席だが、快く譲ることのできる人が増えることによって、上手に利用できるのではないかと思った。

(山梨英和中3年・佐々木愛)

◇少し落ち込んだ私がある日、目撃したのは、優先席を譲っている1人の男性だった。1人で2席使っている人などがいたせい、車内は座ることが難しい状況だった。その時、1人の男性が立ち上がり1人の妊婦さんに「こ

かったのだろう。